

事業番号	04 07 12	事業改善シート (27年度実施事業分)			<input type="checkbox"/> 当初要求	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	保育士研修事業				担当課	部局	県民文化部	
総合5か年計画	プロジェクト					課・室	こども・家庭課	
	施策の総合的展開	7-2 子育て先進県の実現 5 地域・家庭の教育力の向上				E-mail	kodomo-katei@pref.nagano.lg.jp	
					実施期間	～		

1 事業の概要

目指す姿	保育所保育士等に対する研修を実施し、その資質及び児童処遇技術等の向上を目指す。
------	---

現状 (予算編成時)	○保育の実施主体は市町村であり、保育に対する考え方や取組み方がまちまちな面がある。 ○保育所に求められる役割が多様化していることに加え、保育制度自体が変革期を迎えていることから、研修会等を通じての情報共有・情報交換が必要である。
------------	---

県が関与する理由	県関与の必要性あり 【左記の説明、根拠法令等】 地域で共通する問題への取組やどの地域にも共通する知識・技術の研鑽は、市町村単位より、県が広域ごと行うことにより経費が集約化されるメリットがある。 県民との協働による実施：実施は困難
----------	---

成果目標・事業内容	① 成果目標 (H27)				
	○発達障害児等の早期発見、適切な支援の実施等のための保育士研修会の開催 (参加者数650人) ○保育所における食育の推進、食物アレルギー等への適切な対応のための給食担当者研修会の開催 (参加者数500人) ※過去の参加者数から人数を算出				
	② 事業内容 (単位:千円)				
	項目	実施方法	H27実施内容	H26 (当初)	H27 (要求) (予算案)
	1、保育所一般保育士研修会の実施	直接	保育所の一般保育士を対象とした研修会 (公開保育、事例発表、グループ討議など)を保健福祉事務所単位 (10か所)で実施 研修内容は地域ごと必要性の高いテーマを設定	227	227 227
2、給食担当者研修会の実施	直接	保育所の給食担当者を対象とした研修会 (調理実習、事例研究など)を保健福祉事務所単位 (10か所)で実施 研修内容は地産地消など食育の推進、アレルギー対策などのテーマを設定	360	360 360	
3、保育所保育士専門研修会の実施	直接	保育所の現状に応じて、必要と考えられる研修会を県内すべての保育所を対象として実施 (年1回)	-	- 460	
4、関東ブロック保育事業連絡協議会への参加	直接	年1回開催される関東ブロック保育事業連絡協議会への参加	33	33 33	
合計			620	620 1,080	

事業コスト	区分 (単位:千円)	24年度	25年度	26年度	27要求	27予算案	成果目標の達成状況					
	予算額	前年度繰越						項目	H26末 (見込)	H27		H28 目標
		当初予算	595	620	620	620	1,080			目標	成果	
		補正予算						保育士一般研修会参加人数	650人	650人		
		合計 (A)	595	620	620	620	1,080	給食担当者研修会参加人数	500人	500人		
	Aの財源	一般財源	155	152	152	165	396					
		県債										
		国庫支出金					359					
		その他	440	468	468	455	325					
	決算額 (B)		416	412								
概算人件費	職員数 (人)	2.05	2.05	2.05	2.05	2.15						
	概算人件費 (C)	16,929	16,929	16,929	16,929	17,755						
	概算事業費 (B(A)+C)	17,345	17,341	17,549	17,549	18,835						

指摘事項等への対応	(指摘事項等)	(対応)
<input type="checkbox"/> 監査 <input type="checkbox"/> 決算特別委員会 <input type="checkbox"/> 県民協働による事業改善		

要求からの主な変更点	保育所保育士専門研修は、国の制度改正により「安心こども基金事業 (保育士研修事業)」から移行
------------	--